

健康管理セミナー

定期健診の活用方法

島ト協

【島根】島根県トラック協会(永井好輔会長)は9月20日に松江市で、21日に浜田市で、それぞれ健康管理セミナーを全ト協と共同開催し、定期健康診断の活用方法や高齢者の特性と健

康管理を学んだ。

両日とも講師、講習内容は同じで、第1部はNPO法人(非営利活動法人)へルスケアネットワーク(OLSHIS)の黒田悦子保健師が、全ト協の運輸ケアナビシステムなどを解説。第2部では、国土交通省健康起因事故対策協議会委員を務める、OLSHISの作本貞子副理事長が「高齢ドライバーと業務運転」をテーマに、各種の健康維持・管理の手法を伝えた。

また、各会場で、本藤英

満専務は「脳・心臓疾患による過労死の認定数は、道路貨物運送事業が業種別で第1位という悪いデータがある。2021年は島ト協の会員事業者でも病気に起因する交通事故が発生しており、従業員の健康を身近な問題として取り上げる必要がある」と強調。

更に、「業界の大きな課題である人材確保は新たに若手を確保するだけではない。知識や経験を有している優秀な従業員を継続して確保することも含まれ、従業員の健康保持を推進していくことも重要だ」と指摘した。

(矢野孝明)